様式3

学校番号 84

令和 5 年度 学校評価書 （計画段階・実施段階）

福岡県立東鷹高等学校全日制課程

自己評価

学校運営計画（4月）			評価（総合）
学校運営方針	人権教育を根幹に据え「りっぱな社会人を育てる」ことを学校運営方針とし、社会に必要とされる人材、社会に貢献できる人材の育成に努める。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
【成果】 生徒の特性に応じた進路指導 【課題】 基礎学力の更なる向上	基本的な生活習慣の確立	挨拶のクオリティーアップ・気づきを高めた掃除の徹底	
	良好な人間関係づくり	教育相談や個別支援の充実	
	学力向上のための授業改善	ICTを活用した授業の工夫および観点別評価の工夫	
	勤労観・職業観の育成と進路意識の向上	3年間の進路計画の作成、インターンシップの等のキャリア教育の充実	
	地域に信頼される魅力ある学校づくり	学校行事や部活動の活性化、地域貢献活動への積極的参加	
	安全安心な学校づくり	いじめの早期発見・早期対応を心掛け、家庭との連絡・連携を密に行う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
学務	学力向上のための教育課程・授業改善	観点別評価を活用し、さらなる指導と評価の一体化を図り、授業改善につなげる。				
		基礎基本の再習得を図るために、生徒が主体的に学び直しができる支援を行う。				
	円滑な学校運営に係る学校業務の充実	広報活動を充実させ、本校の教育活動等を外部へ積極的に発信する。				
		創立100周年行事に向けての組織づくりを進める。				
	ICTの効果的活用による学校運営支援	ICTの効果的活用により生徒・教員共にワクワクする授業づくりを支援する。				
		SchoolEngineできめ細かく情報を管理し、現場に還元する。				
	研修の充実発展	創意工夫ある授業を充実させるために、各種研修会を計画的に実施する。				
		授業アンケートを授業改善に活用し、学力向上につながる授業を工夫していく。				
生徒指導	全生徒が安心して学校生活を送ることができる生徒指導	他者が気持ちよく、勇気づけられる気持ちを込めた挨拶で、自信をつけさせる挨拶の指導。				
		立派な社会人を育てるための身嗜みを身につけさせる。				
	安心して過ごせる学校環境づくり	感染症予防対策の習慣化を図る。				
		快適な環境のもとで学校生活を送ることができるよう、校内美化活動を推進する。				
進路指導	生徒の第一希望進路の実現	明確な進路意識を持たせ，受験対策を早期から組織的に行う。				
		外部とも連携し，常に新しい情報が提供できるようにする。				
	進路意識・職業観の育成	健全な生き方・あり方を考えさせ、職業観と進路意識を向上させる。				
		第一希望進路を実現するための計画的・体系的な進路体制の確立に努める。				
人権・同和教育	人権文化あふれる学校づくり	教師と生徒がともに考え、学び合う人権・部落問題学習を推進する。				
		教育活動全般を通した人権・同和教育の日常化・生活化を図る。				
	生徒支援体制の推進	「気づきシート」の活用や健康診断等を通して得た情報を職員で共有し、共通理解を図る。				
		保護者や関係機関との連携を図り、校内での定期的な情報共有と継続的な支援を行う。				
1学年	基本的な生活習慣の確立	「立ち止まって挨拶」、「チャイム席」を定着させる。				
		日常の清掃活動を徹底し、身だしなみや身の回りの整備に努めさせる。				
	基礎学力の向上・定着	日々の授業を通して、学習習慣を確立させる。				
		学び直しの時間（底力タイム）を通して、学びに対する意欲を高める。				
2学年	社会人として通用する態度・習慣の確立	挨拶の大切さや時間を守る重要性を自覚させ、行動で示すように努めさせる。				
		TPOに合わせた行動を実践し、周囲に配慮した言動をとることができるように促す。				
	効果的な進路指導の充実	進路情報の発信をこまめに行い、自身の進路について情報収集をする力を養う。				
		課外授業や模試・検定などへの積極的な参加を促し、明確な進路目標をもたせる。				
3学年	第一希望進路の実現	希望進路の実現に向けた類型別の進路指導を適切に実施する。				
		保護者と情報を共有し、進路実現に向けて連携を密にする。				
	社会に通用する「立派な社会人」の育成	挨拶・身だしなみを徹底させ、東鷹高校をリードできる学年集団作りを目指す。				
		学校行事を通してリーダー性を高めさせ、コミュニケーション能力の向上を目指す。				
総合生活科	専門的な知識・技術の向上	年8回実施する社会人特別講師招聘事業により、効果的な授業展開を図る。				
		2冠王取得者20名以上、3冠王、4冠王取得者それぞれ1名以上を目指す。				
	共に働きたい人材を育てる	インターンシップ（5日間実施）を通して、正しい勤労観、職業観を育成する。				
		総合生活科発表会等の生徒の主体的な活動を通して、責任感や協調性を培う。				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

・
・
・

学校関係者評価

評価（総合）	自己評価は
	A ： 適切である B ： 概ね適切である C ： やや適切である D ： 不適切である

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

評価項目以外のものに関する意見